



小教育生発第121号

平成30年5月16日

小金井市文化財保護審議会

会長 二宮 修治 様

小金井市教育委員会

教育長 大熊 雅



小金井市文化財追加登録について（諮問）

このことについて、平成30年第5回教育委員会定例会で協議した結果、小金井市文化財保護条例第41条の規定に基づき、下記事項について諮問いたします。

記

1 諮問事項

小金井市文化財追加登録について

2 案 件

- (1) 名 称 陸軍技術研究所境界石杭
(りくぐんぎじゅつけんきゅうじょきょうかいいしぐい)
- (2) 員 数 1基
- (3) 所在の場所 小金井市本町五丁目31番地の路肩
- (4) 所 有 者 (ア) 小金井市
(イ) 鈴木康政
- (5) そ の 他 既に同じ規格の境界石杭1基が、平成23年4月25日に登録第4号として文化財登録され、文化財センターに保管、公開されている。

資 料

- 1 登録番号 第4号（平成23年4月25日登録）
- 2 名 称 陸軍技術研究所境界石杭
（りくぐんぎじゅつけんきゅうじょきょうかいしぐい）
- 3 種 別 市登録有形文化財（歴史資料）
- 4 登録基準 小金井市文化財の指定及び登録の基準に関する要綱（平成18年4月5日制定）第9条第2号

5 員 数 1基（追加） 計2基

6 所在の場所

- (1) 既登録物件 小金井市緑町3丁目2番37号（小金井市文化財センター）
- (2) 追加物件 小金井市本町5丁目31番地

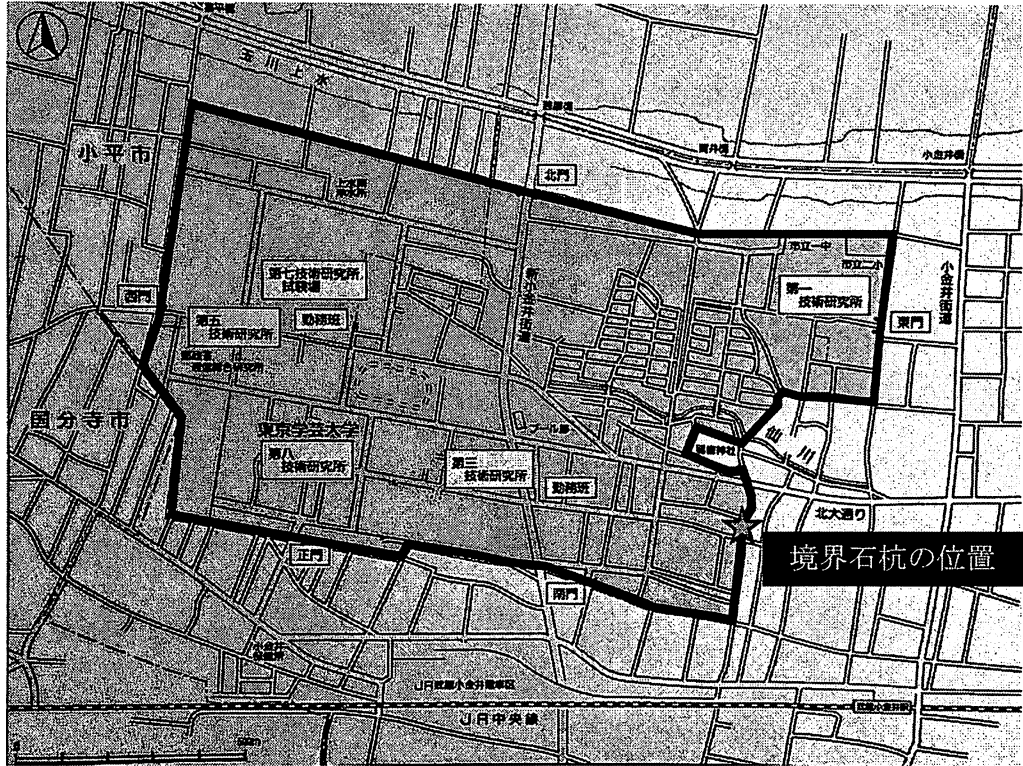
7 所有者の氏名又は名称及び住所

- (1) 名 称：小金井市 住 所 小金井市本町六丁目6番3号
- (2) 氏 名：鈴木康政 住 所 小金井市本町五丁目31番1号

8 内容及び登録理由

現在の貫井北町・桜町・本町一帯の約57万坪は、昭和15年（1940）から昭和17年（1942）にかけて、陸軍技術研究所として陸軍に強制買収された。買収用地は万年堀で囲われ、第一・第二・第三・第五・第七・第八の6技術研究所が都内から移転してきたが、まもなく終戦を迎えた。境界石杭は、全長1m、12cm角の花崗岩製で、側面に「陸軍」と刻まれており、陸軍用地の境界の各所に設置されたものである。

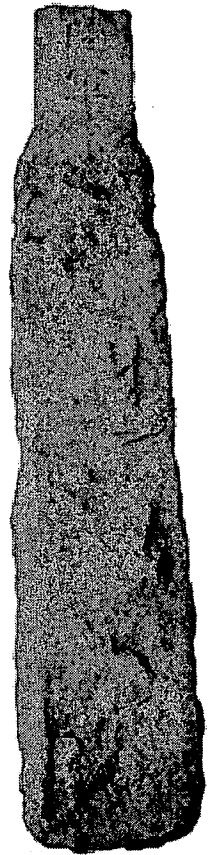
追加登録する境界石杭は、本町五丁目31番地の路肩に現敷地境界杭として残存しており、杭の大半が地下に埋設され、上部15cmが地上に露出している。戦争遺跡である旧陸軍技術研究所の存在を現地に示す遺物として貴重である。



旧陸軍技術研究所の範囲と石杭の位置



文化財追加登録候補の石杭の現況



文化財登録済みの石杭
(登録第4号)

特別展

明治(東京)150年市制施行60周年記念展示『小金井の絵図』

明治(東京)150年市制施行60周年記念事業として、修復した3枚の大判村絵図(貫井町・小金井村)とともに近世～近代の多数の絵図を公開する。

日 時 平成30年11月1日(木)～平成30年12月24日(月) 9:00～16:30

会 場 小金井市文化財センター

文化財めぐり

史跡めぐり

古地図等を参考にしてはげ周辺に残る文化財や史跡を解説しながら案内します。

日 時 平成30年11月17日(土) 9:00～12:00(予定)

会 場 現地集合・現地解散

講座・講演会

文化財講演会

小金井市文化財センター所蔵資料、及び市内文化財、遺跡について専門家がわかりやすくお話しします。詳細はホームページ等でお知らせします。

日 時 平成30年11月10日(土) 10:00～12:00

会 場 小金井市文化財センター